

第21回「文芸思潮」現代詩賞 予選通過作品発表

◎「虹彩の絶滅保護について」 norik@_K

◎「不思議な風の日」 不動いわお

◎「約束」「紅葉」「化身」 南斗るい

◎「これは君が注文した雨じやな」 フラッシュバック 坂本月子

◎「彼方の人たちへ」 バンクラブシー太郎

◎「桜」「平安」 泉 玲子

◎「少しずつの違い」 壱貫亨治

◎「美しさについて」 浦田久武

◎「夜になれば」 片岡周子

◎「不意打ち」 遠藤芳子

◎「ラブソング」 紺野 真

◎「明滅」「痕」「魂柱」 ふきの

◎「夜になれば」 山本雨桜

◎「茶房」「非行律」 オキラク

◎「いなくなるタイミング」「ほかの誰かにとつて」 ショーン

「古と抽象」 まつのき

「あり地獄」 佐久間行

「亡父のこと」 鈴木和則

「十万画素の印象画」 千葉紫月

「峩る」「儀式」 佐山由紀

「水想」「記録の異変」 砂傍十一

「邂逅」「はじまり」 井口牧子

「雪 Snow」 田中彼方

「薄い膜に映る花」 政木麻由子

「燃え尽きた太陽」 藍澤祐樹

「午前8時の眠気」 庄司直也

○「rebirth」「je rêve」noir 齋藤 礼
○「このりの歌2」自由 花
○「ゲゼル」赤坂和代
○「琥珀」片野 桃
○「青の城」「障り」宮原透夏
○「秤」「風」「朝の輝き」小川勇大
○「おんなじころ」北あかりん
○「宮沢賢治という星」花山徳康
○「ずれの群れ」遠藤月尾
○「いのちの素描」相河史哉
○「統合感覺」「パレード」梁瀬象
○「散步する魚類」色透ふう
○「大富豪」「水と星座」鹿島 楓
○「浜の神の石」南雲和代
○「パンコクグリッチ」中里一日
○「東塔」薬師寺 清水一美
○「西友」「うたたね」大塚陽梅
○「十九歳」「本流」山下雅史
■ 神奈川県
○「林檎」Say S
○「原点回帰」「いちご」多佳子
○「思惑」信風活路
○「背筋」「スペクトラム」ルキア
○「中深層」上原有柄
○「戦車の轍に埋もれた声」「宇宙
におさまるビー玉」阿部静雄
○「口に、夏」碧 はる
○「季節に咲かない」宗 有鎮
○「アスファルト」河野宏紀

○「生きること」
○「森羅万象」
○「夢食い」「生活」
○「共存する」
○「異郷にて」
○「海の底より」
○「悪魔の証明」
○「ばつ印」「母の日」
○「よつ葉探し」
■新潟県
○「平和」「戦争」
○「別離」「蜉蝣」「廻る」優木紳名
○「酔えないこの子」
■富山県
○「生と死の混じる地にて」添美
○「1120」
■石川県
○「闇に溺れる」
○「淋しそぎて」
○「ストロボ」
■山梨県
○「従姉妹」「通院」
○「神」
○「神と等しき男」
■長野県
○「群青の灯」
○「ともによきひと」
「見つけた」
「ほかのなにか
柳瀬陽地
深澤 陽
宮脇すみれ
もしも、はる
星詠橙子
★紫苑★
やらずの
七十里悠
武井深彦
椿生宗大
山本千鶴
酒井恵三
中村 隆
裏路地ドクソ
田中浩司
カミーれおん
皇月五日
今井 葉
イオリシヤオロンリネス

○「朝陽のグルーブ」 黒髮
○「頑張る基準」 青砥在りか
○「村八分」「檻」「火」 後藤順
○「白衣の狂言」 吉永旬那
○「寒夜」「春」 中之宿えい
○「落花」「四季のこと」 下原整走
■ 静岡県
○「ジブンケアラー」 野中梨央
○「更地」「交差点」 尾内甲太郎
○「空き家」 田村全子
○「存在のしるし」 橋本沙和子
○「宵闇を呼び黄泉を詠む」
■ 愛知県
○「無数の扉の先」 青金せにあ
○「乳白色の食卓」 後藤敏斤
○「迷えるあたし」 曲田尚生
○「かけらうの駅」「少年」 大江豊
○「母子礼賛」「鳥瞰」 中村昭洋
○「みどりの日」 福富ぶぶ
○「迷えるあたし」 後藤敏斤
○「熟れた秋果」 渡邊章夫
○「新世界」「生命の姿」 徳丸魁人
○「言葉」「浸食」 遠藤創
○「直指人心」「符号」 片岡優斗
○「波の音」「執刀」 伊藤裕子
岩谷隆司
■ 三重県
○「敗北の後に」

第21回「文芸思潮」現代詩賞 予選通過作品発表

● 第21回 「文芸思潮」現代詩賞に御応募いただき、まことにありがとうございました。おかげさまで、日本全国より二四二人から作品をお寄せいただきました。心から御礼申し上げます。去る五月三十一日に締め切らせていただき、厳正な一次・二次・三次予選審査を行ないました。その結果を謹んでここに発表させていただきます。

■ **北海道**

- 「詩にたいとなげく詩人への出さない手紙」 朝伊ミチル
- 「枯れ庭」 来野 怜
- 「グイの家」 笹森美帆
- 「時の廊」「朝日の底」 Kaoh-7
- 「面を洗う」 春町桃花
- 「花色の真珠と再生のワルツ」 夢時リュンヌ
- 「メイ」 蒼樹ほのおり
- 「入相」「窓を拭く」 中村郁恵
- 「思索と詩作」 象り

■ **青森県**

- 「深淵の愉悦」 小山田良三

■ **岩手県**

- 「透明な暗殺者」 珀亞

■ **宮城県**

- 「くちばし」「脱ぐ」 堀越そのえ
- 「Aspect」 あらいれいか
- 「奥の奥にある大事な心」 日知
- 「紙の手触り肌触り」 武田 悟
- 「あなたの雨は私の涙」 柏村ねおん

■ **山形県**

- 「眺望」 井上利也

■ **福島県**

- 「オーブンカー」 菅原 韶
- 「憧憬」「散心」「残灯」 菅野 望
- 「抨啓」 カインヘル もぐらたぬき

■ **茨城県**

- 「東京バス」 おとのこころ

■ **宇都見太**

- 「独白（冬）」

●「祈り」「卵焼き」金 梨花

●「四丁目の夕日」北川 聖

●「おむすびは世界一美味しい飯！」三日月李衣

●「原米論—咀嚼以前の民俗」加藤雅水

○「隠れているばく」大友紅歳

○「水の無いブーム」北村灰色

○「泥のようく眠、れず」風何

○「幻想搖曳曲」柳柳太郎

○「痛みという宝物」あゆみ

○「二回」あいはて

○「左手のない猿」いもどいちろう

○「青薔薇は未来を知つてゐる」ERING (向井えり)

○「熱る」「乱気流」「紺青」ヤス
 ○「秋宵」「可惜夜」胤利史朗
 ○「どんぐり」いの L
 ○「毒のかたち」片桐こげち
 ○「愛と呼んだから」実川阿仁
 ○「連なる」「午睡の箱」五十月彩
 ○「詩」「錯乱の僕」「星」河村暎我

■ 東京都
 「おやすみのうた」米津詩織
 ○「限りない女」柳沼咲子
 ○「仕返し」Cycle Wakka
 ○「刃物」「一如」斎藤明徳
 ○「言葉を探して」小室澄江
 ○「闇夜に香る」黒田裕美子
 ○「星を葬る」杉平敦
 ○「終焉」或いは再生」雨宮汐里

第21回「文芸思潮」現代詩賞 中

◎三次予選

第21回「文芸思潮」現代詩賞 予選通過作品発表

度が足りないがつたりやや粗拙であつても、他者が訴えたい切実なものとしています。一次予選通過には、何%とか、何篇以内とか、数字の枠はありません。したがつて、応募者全員が一次予選合格ということになります。

また第二次予選は、その中でさらには強く何かを感じられるもの、詩の形としてしつかり翼を得ていているもの、言葉の光るもののが選ばれます。一行でもいい、一句でもいい、何か一つ心中に残る新鮮な言葉、結晶度が高い言葉があるかどうか、心の真実がこもっているかどうか、思いとし得ます。

〔文芸思潮〕現代詩賞選考委員会（一文一思潮）選考委員会では、選考の便宜性のために通過作品数を何編以内と制限するのではなく、あくまでも作品の内容を重視して、優れた作品がたくさんあれば、できるだけその作品の価値やレベルによって、作品を残すよう心がけています。したがって、場合によってはたくさんのがったときに、三次予選、さらにその上に選出される可能性もあります。どうかこれらの点を御了解ください。まことに、どうかこのことを念頭において御応募いただけましたら幸いで、また次回もどうかこのことを念頭において御応募いただけましたら幸いで、

第21回 「文芸思潮」 現代詩賞中間發表

詩の添削指導

詩人集団 J

第一線詩人による懇切な添削指導

第21回「文芸思潮」現代詩賞 予選通過作品発表

小説の書き方を体験を踏まえて丁寧に解説する小説指導書

小説の書き方 —作家を志す人のために—

五十嵐 勉